

修得目標 看護学科

学科の修得目標		全学の修得目標	4要素	
レベル1	レベル2			
A	人間を総合的に理解し、基礎的な看護が実践できる	1 看護の対象となる人々との援助人間関係の形成に取り組み、コミュニケーションを図ることができる		汎用的技能
		2 健康状態やライフステージの異なる対象者の健康問題を科学的根拠に基づいてアセスメントできる		汎用的技能
		3 対象者の自立・自律を目指した看護実践を計画し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる		統合的な学習経験と創造的思考力
		4 対象者の個別性を踏まえ、看護技術を実施できる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
		5 人間を身体的・心理的・社会的側面から総合的に捉え、述べることができる		知識・理解
		6 看護専門職として我が国における保健・医療・福祉のサービス提供にかかる課題について述べるができる		汎用的技能
		7 さまざまな世代の人々が安全に日常生活を営むために必要な制度、社会の仕組みについて説明できる		知識・理解
		8 基本的な学びのスキルをもちいて学習活動からつかみ得たことを自分の言葉で表現できる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
		9 人間に関わる諸現象を理解する関連学問について説明することができる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
		10 人間に関わる諸現象を理解する関連学問と看護の関連性について説明することができる		知識・理解
B	保健・医療・福祉等に関わる人々と協働することができる	11 保健・医療・福祉に関わる関連職種の役割や特徴について説明でき、それらの職種と看護職との連携の在り方について述べるができる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性
		12 対象者への援助について、関連職種に対して積極的に自らの考えを述べるができる		態度・志向性
C	看護の専門性と、看護職者の責任および役割を認識し、倫理的な実践ができる	13 他者の尊厳と権利を擁護する看護援助技術について、指導者の助言を得ながら実践することができる		汎用的技能
		14 あらゆる健康状態、あらゆる年齢層の人々への援助を通して、科学的根拠に基づいた看護援助を創造し実践できる		汎用的技能
		15 人々の生命や健康への脅威、生活の破綻に対して、グローバルな視点から考え、問題解決の具体策を述べるができる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
		16 国や文化を越えて生きている人々の生命や健康への脅威、生活の破綻、社会、経済、教育、文化などに起因する健康問題について、看護の視点で捉え、説明できる		知識・理解
D	看護職者として人と関わる中で、自己と他者への気づきを深め、自ら学びを継続的に発展させることができる	17 自ら培った知力と感性を活かし、看護援助について自律・自立した学修ができる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
		18 社会で発生している倫理的諸問題について、倫理的・道徳的立場から自らの責任のもと意見を述べるができる		態度・志向性
		19 生命や健康への脅威、生活の破綻に脅かされている人々への看護援助に参加する機会を見つけ、自ら参加し報告できる		汎用的技能
		20 異文化の背景を持つ人々と交流し、看護の対象者の多様性について説明できる		知識・理解
		21 看護に関する課題に対して、文献等を活用しデータを収集・分析して、研究的に取り組むことができる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
		22 自らが目指したい役割モデルを確立させ、専門職として生涯どのように活動していきたいか、目標とビジョンを持つことができる		統合的な学習経験と創造的思考力
		23 自らが関心のある看護の問題解決に必要なテーマを選び、研究的手法を用いた成果物を作成することができる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力

